

オミクロン株 国内初確認

ナミビアから入国した男性

厚生労働省は30日、ナミビアから入国し、空港検査で新型コロナウイルスの陽性反応が出ていた30代男性から、変異株「オミクロン」が検出されたと発表しました。国内で同株が確認されたのは初めて。

→関連②⑦⑯面 男性は同行した家族2人とともに、国が指定する宿泊施設で隔離されています。空港到着時は無症状でしたが、隔離中に発熱しました。

世界規模リスク「高い」

厚生労働省は30日、三国経由で成田空港に到着。検査でコロナ感染が判明しました。国立感染症研究所が全週伝情報（ゲノム）解析をした結果、オミクロン株が検出されました。国内で同株が確認されました。

した。

した。家族はコロナ陰性です。変異で感染力が高まっている恐れがあり、政府は30日、全世界からの外国人の入国を原則停止しました。

した。

WHOは先に、コロナに感染したことのある人が再び感染するリスクが比較的高いとする調査結果を明らかにしていました。これまでの変異株に比べ重症化やすいかや、既存のワクチンがどの程度有効かなどについて現在、調査が進められています。

が国際的に拡散する公算が大きい、世界規模のリスクは「極めて高い」と分析した加盟国宛ての報告内容を発表しました。「前例のない数の（感染に関わる）スピードたんぱく質の変異があり、一部はパンデミック（世界的流行）の今後の行方に影響を及ぼし得る」としている懼れがあり、政府は警告しました。

WHOは先に、コロナに感染したことのある人が再び感染するリスクが比較的高いとする調査結果を明らかにしていました。これまでの変異株に比べ重症化やすいかや、既存のワクチンがどの程度有効かなどについて現在、調査が進められています。